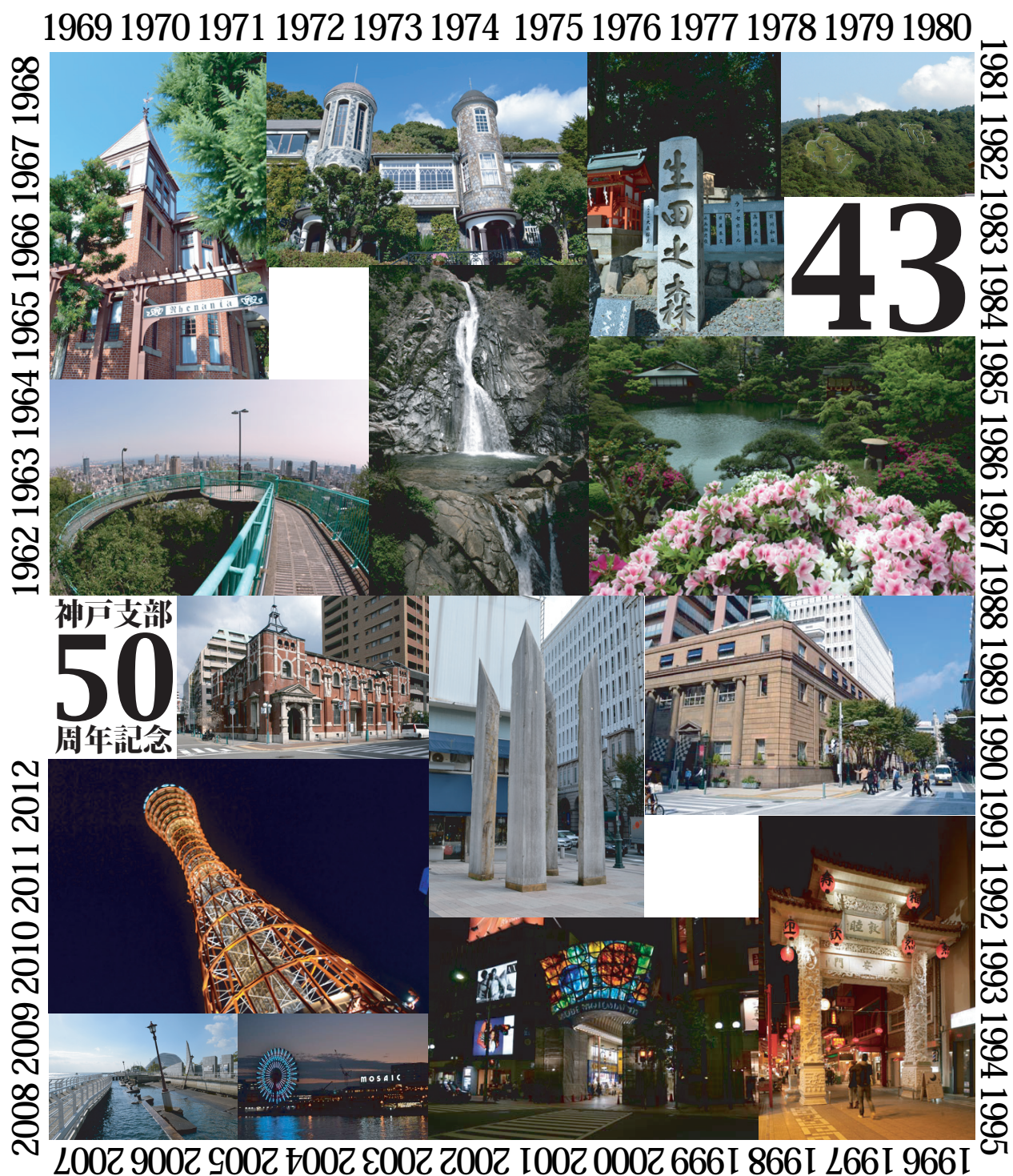


# PANEL



平成 25 年 4 月  
社団法人 兵庫県建築士会神戸支部

## 支部長挨拶



会員の皆様には建築士会神戸支部にご協力頂き、厚くお礼申し上げます。

神戸支部は平成 24 年度に創立 50 周年記念式典を兵庫県県立美術館に於いて、兵庫県建築士会会長・各支部長にご出席頂き、盛大に執り行いました事をご報告し、関係各位並びに会員の皆様に感謝申し上げます。

新神戸支部事務所の開設も 1 年以上を経過し、事務所単独運営上、問題も色々とありましたが一つ一つ解決してまいりました。現在では理事会・各委員会・ミニ講演会・研修会等使用頻度も増し、より充実した支部の運営を心掛けたいと思っています。

私個人としては特別養護老人ホームの監理に 1 年近く携わりましたが、つくづく設計と実際の施設の使い方の違いを痛感しました。車椅子使用者・その介護者・施設管理者・来館者の目線と行動パターンの違い等、設計では表せない事柄に気づかせられました。「安心・安全な建物」とは、という原点に戻った感じがしました。

平成 24 年度、神戸支部では 13 の事業を開催しましたが、平成 25 年度もそれ以上の新しい事業を多数企画・運営を展開していく予定です。支部発展の為より多くの皆様の参加を希望いたします。事業の企画に興味のある方は、神戸支部の運営に参加し、是非一緒にやりましょう。

( 井上 芳朗 )

## 平成 25・26 年度神戸支部役員

【支部長】 田中 義之

【副支部長】 戎 孝之   久宝 弘幸   佐々木 博司   前川 象二郎

【理 事】 荒川 直樹   上野 和彦   木山 正典   車谷 知之

湖亀 一登   佐伯 亮太   佐々木 康行   野口 直人

日高 俊二   前田 さえ   榎本 光展   松村 哲也

三島 悦子   毛利 康人   安水 正

【監 事】 鎌谷 正士   水谷 忠清

【相 談 役】 井上 芳朗

※\_\_\_\_\_は常任理事

# 総務委員会

24年度は支部創立50周年式典という大きな節目を迎え大忙しでしたが、メンバー全員で頑張り何とか乗り越える事ができました。  
25年度からは公益社団法人化となり建築士会は新たな出発の年となります。至らぬ点も出て来るかと思いますが、支部事業が円滑に行える様頑張っていきたいと思いますので、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

## 《25年度メンバー》

委員長	湖亀 一登
副委員長	松村 哲也
委員	赤澤 祥語
	大塚 正
	三島 悦子
	宗政 安俊

## 【24年度通常総会】



会場：県立美術館ミュージアムホール



井上支部長 挨拶



## 【24 年度通常総会】



支部通常総会



支部通常総会

## 【創立 50 周年記念式典】



安田会長 挨拶



支部創立功労者大海元会長 挨拶



一般功労者代表の加藤様



招待者様の様子

## 【懇 親 会】



阪神支部北川支部長 挨拶



設計監理協会瀬戸本会長乾杯の音頭



懇親会の様子



懇親会の様子

開催日時：平成 24 年 4 月 28 日（土）13：00～19：15

開催場所：兵庫県立美術館 ミュージアムホール

（神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1）

開催内容：平成 24 年度神戸支部通常総会

支部創立 50 周年記念式典

特別講演会（西沢 立衛氏）

懇親会（館内レストラン ラピエールミュゼ）

参 加 者：通常総会 70 名

記念式典 99 名（会員 80 名、招待者 19 名）

特別講演会 218 名（会員 83 名、招待者 19 名、非会員 116 名）

懇親会 79 名（会員 58 名、招待者 21 名）

# 研 修 委 員 会

## 平成 24 年度第 1 回法規講習会事業報告

平成 24 年度の第 1 回法規講習会として、神戸市条例の改正をはじめとする景観法関係と本年度施行予定である新法「都市の低炭素化促進法」及び「神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例」、「神戸市建築主事取扱要領」の改正、消防法の最近の動向等についてご説明をいただきました。受講者は会員 85 名でした。

■ 開催日時： 平成 24 年 7 月 9 日（月） 13：30～16：30

■ 開催場所： 兵庫県私学会館 4 階大ホール

■ 参加者： 85 名（会員）

■ 受講料： 建築士会会員・事務所協会会員は 2500 円、会員外 3500 円

■ 講演内容：

①「景観法について」

講師：神戸市都市計画総局計画部まちのデザイン室 担当係長 加藤 宏司 様

②「都市の低炭素化の促進に関する法律及び神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課 指導係長 鷺尾 真弓 様

—休憩—

③「神戸市主事取扱要領の改正について」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課建築安全担当課長 根岸 芳之 様

④「消防法の最近の動向について」

講師：神戸市消防局予防部建築課 建築第 2 係長 黒田 恭弘 様

■ 共催：（社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部



## 平成 24 年度「歴史と環境を学ぶ会」事業報告

7 月 28 日(土)に毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、滋賀県の「多賀大社」と秀吉のつくった「長浜の町並み」を見学しました。

神戸市役所北側花時計前からバスで出発しました。阪神高速から名神高速に乗り、午前中に多賀大社見学の予定でしたが、琵琶湖で行なわれる鳥人間コンテストの影響で大渋滞。昼食後に多賀大社の見学となりました。

多賀大社では、湖国の夏の風物詩として有名な「万灯祭」の準備が行われており、1 万 2 千灯もの献灯が飾られていました。ご住職より多賀大社の歴史や建物・庭の説明を受けた後、境内を各自見学しました。

その後、再びバスに乗り長浜へ移動しました。午前の渋滞により時間短縮を余儀なくされ、長浜曳山まつりの中心地「長浜八幡宮」の見学を断念しました。

長浜に到着した後、現地ボランティアガイドの案内により、「大通寺」を訪問しました。

真宗大谷派(東本願寺)の別院。正式には「無礙智山大通寺」といいますが、一般に「長浜御坊」の名で呼ばれています。伏見桃山城の遺構と伝わる本堂や大広間、長浜城の追手門を移築した脇門(薬医門)など、建造物の多くが、国あるいは市の重要文化財です。内部の障壁は、狩野山楽・山雪、円山応挙によって描かれており、その庭園は国の名勝に指定されています。

大通寺見学後、長浜曳山まつりを守り伝えていく施設「曳山博物館」の見学に行きました。

曳山は 4 基収蔵し、2 基ずつを 3 ヶ月交替で公開しています。館内では曳山の舞台上で演じる子ども歌舞伎(狂言)の様子が映像で見られました。

その後、各自自由行動となりました。谷汲街道と北国街道の交差点にある「黒壁ガラス館」やその他、長浜の町並みを見学し午後 5 時半頃帰路につきました。

真夏の暑い中ではありましたが、帰りは渋滞にもあわず、皆無事にもどって来れました。長浜八幡宮の見学は出来ませんでした。大渋滞の中、ほぼ予定通りの見学内容が出来たと思います。最後になりましたが、多くの参加頂いた方々に心から感謝申し上げます。

---

日 時:平成 24 年 7 月 28 日(土) 8:30~19:30

集合:神戸市役所北側花時計前 解散:三宮駅東ラウンドワン前

内 容:多賀大社と長浜の町並み

多賀大社 太鼓橋(太閤橋)・神門・本殿・幣殿・拝殿・奥書院及び庭園

大通寺 本堂・大広間・含山軒及び蘭亭の障壁画・庭園

長浜の黒壁スクエア町並み散策

曳山博物館・黒壁ガラス館他

参 加 費:会員-4500 円 ・ 非会員-6500 円

参加人数:会員 31 名・非会員 4 名 合計 35 名





多賀大社 太鼓橋(太閤橋)・神門



多賀大社 本殿



大通寺



大通寺 本堂



大通寺 大広間



曳山博物館



多賀大社前にて集合



曳山博物館前にて集合

## 大庄公民館見学、講演会事業報告

去る平成 24 年 12 月 8 日、建築家村野藤吾の設計による、昭和 12 年竣工の尼崎市大庄公民館（旧大庄村役場）の見学及び講演会を行いました。

講演会の講師の先生は京都工芸繊維大学助教の笠原一人先生にお願いしました。笠原先生は村野藤吾を始めとする近代建築の研究者であり、また京都工芸繊維大学の村野藤吾設計研究会に所属し、村野藤吾に関する多くの講演や見学会をこなしてきた方です。

今回の講演のテーマは会場が旧大庄村役場であり、また村野藤吾設計の庁舎建築は意外にも 5 つしかなく、そのうちこの旧大庄村役場と尼崎市庁舎、宝塚市庁舎と 3 つが阪神間に集中していることから「庁舎建築作品に見る村野藤吾の公共性」とし、講演いただきました。

講演内容は、丹下健三の庁舎建築がピロティーなどのオープンな公共空間により公共性を重視するのに対し、村野藤吾の庁舎建築では閉じた室内空間に市民ホールをつくり、より記念碑的で象徴性が高いことなどが述べられたいへん興味深いものでした。



見学会は、笠原先生が先導し普段は見られない屋上塔屋や地下食堂も見せていただきました。何度も見学会をやられているので、解説も手馴れたもので塔屋のオリーブの彫刻や玄関のグリフィンの彫刻のいわれや、外壁のタイルが塩焼きという製法で現在生産されていないことなど、興味深い話がたくさん聞けました。

約 2 時間あまりの見学、講演会でしたが、厳寒のなか、多くの参加者にご参加いただき、心より感謝いたします。

**日 時：**平成 24 年 12 月 8 日（土） 14：00：～16：30

**場 所：**尼崎市大庄公民館。

**受 講 料：**会員 1000 円、会員外 2000 円

**参 加 者：**21 名（会員 21 名）

**講 師：**笠原一人 京都工芸繊維大学大学院  
工芸科学研究科建築造形学部門 助教

**講演内容：**庁舎建築作品に見る村野藤吾の公共



## HEMSについての講習会 事業報告

平成 24 年 12 月 21 日（金）に神戸支部事務局にて、パナソニック（株）エコソリューションズ社の小林晋さまに来ていただき、「住宅におけるエネルギーマネジメント」というテーマで、お話していただきました。あくまで、「パナソニックが考える…」という言葉を前置きしながらも、現在の日本の、また、地球のエネルギー、電力事情を踏まえ 2 時間という短時間ながら、HEMS というこれからの技術と展望について講演していただきました。

まず、テーマとしてまとめると

- 1：日本の電力事情とスマートグリッド
- 2：パナソニックの考える HEMS
- 3：HEMS に繋がる機器・装置の技術トレンド
- 4：非住宅分野のエネルギーマネジメント
- 5：スマートシティへの取り組み

という内容となり、

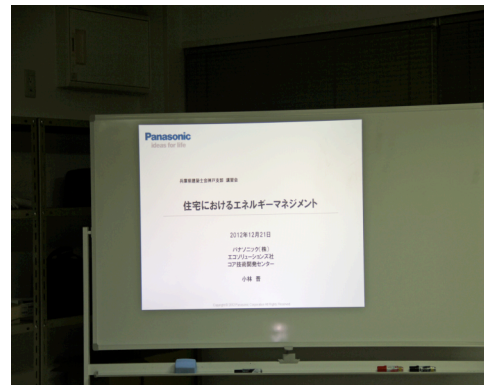
特に東日本大震災以降での前後では、電力ひいてはエネルギーに対するアプローチが我々建築関係者だけでなく、一般の方々も含めて変わりつつあり、グランドデザインの見直しとともに考え方を改めざるを得ない事情が、今回のこの企画の立案したきっかけと重なり、たいへん危機迫る内容になりうなずかざるをえませんでした。

その上、再生可能エネルギーを出発点にした、この HEMS（Home Energy Management System）を行うための、インフラの整備の課題、安定した電力供給の維持の困難さを、技術的な観点を通して話していただき、また、HEMS の本来の考え方である、「家全体のエネルギー供給、需要の状況を総合的に把握し、機器や設備の運転を効率的に行い、省エネルギーを目指すシステム。電力消費・料金を示すことで、ユーザーに省エネルギーを喚起させる」という、川上から川下までの内容にはたいへん興味深いものがありました。



エネルギーマネジメントのひとつの目標に、「エネルギー情報等の見える化」があり、その見えたエネルギーをいかに効率的に利用し、コントロールするかの部分にこのHEMSの特性があり、その経済性、環境性を追求した結果の上に、創エネ、蓄エネという技術連携があり、その先に、停電時や、災害時のための備えとしての電源のバックアップがあるということが、ユーザー目線でもわかりやすく説明していただきました。

それに加えて、上記のようなアクティブ的なエネルギーマネジメント+パッシブなエネルギーマネジメントの重要性の説明も含めつつ、この分野での機器・装置の技術のトレンドから技術進歩の状況、またその機能を持つスマートハウスの採算性、市場に話は広がり、普及のための課題の内容は、建築設計者としても施主への説明する際の重要なポイントとしてもありがたい話でした。



これからの話として、家庭の消費マインドに働きかけるHEMSだけでなく、非住宅分野のBEMS (Building and Energy Management System) やSEMS (Shop Energy Management System) などを通して、ゼロエネルギーを目指した事例も紹介していただきました。

その集大成でもあるのが、「スマートシティ」で、範囲は地域全体へと舞台は変わりつつあり、現在行われている大規模実証実験の取り組みも最大限に可能な範囲でお話ししていただき、短い時間としては他では聞けないとても貴重な内容で、感謝の限りの約2時間でした。

**日 時：** 平成24年12月21日（金） 19:00～21:00

**場 所：** 兵庫県建築士会神戸支部事務局

**受講料：** 会員1000円・会員外1500円

**参加者：** 16名（会員16名）

**講師：** パナソニック（株）エコソリューションズ社コア技術開発センター 小林 晋

**講演内容：** 住宅におけるエネルギーマネジメント



## 平成 24 年度第 2 回法規講習会事業報告

平成 24 年度の第 2 回法規講習会として、兵庫運河周辺、都市景観形成地区指定についてのパブリックコメントの告知の後、「既存不適格建築物に係る規制の合理化（構造）について」及び新法「都市の低炭素化促進法」、「昇降機関係に係る法規制の動向について」、「建築計画概要書の記載方法等について」、「消防法の最近の動向について」のご説明をいただきました。

受講者は会員 92 名でした。

■ **開催日時：** 平成 25 年 1 月 31 日（木） 13：30～16：30

■ **開催場所：** 兵庫県私学会館 4 階大ホール

■ **参加者：** 85 名（会員）、7 名（非会員）

■ **受講料：** 建築士会会員・事務所協会会員は 2500 円、会員外 3500 円

■ **講演内容：**

—告知—「兵庫運河周辺、都市景観形成地区指定について」

神戸市都市計画総局まちのデザイン室 安田東平様

①「既存不適格建築物に係る規制の合理化（構造）について」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課担当係長 上田真史様

②「昇降機関係に係る法規制の動向について」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課担当課長 政井栄久様

③「都市の低炭素化の促進に関する法律の施行について」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課担当係長 武田直樹様

④「建築計画概要書の記載方法等について」

講師：神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課 島田臣也様

⑤「消防法の最近の動向について」

講師：神戸市消防局予防部建築課建築第2係長 黒田恭弘様

■ **共催：**（社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部



# すまいスクール委員会 (旧情報企画委員会)

## ★ 建築士と市民をつなぐ

当委員会は平成23年度より『すまいスクール委員会』と改名し、建築士と市民の交流を目的に活動を行っています。主に神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）と協賛した事業を行っており、行政と連携した事業を通しての人付き合いがあるのが特徴です。建築士として人脈の幅を広げたいと思っている方は一度、委員会に来てみませんか。たくさんの参加をお待ちしています。

## ★ 今年度を振り返り

平成24年度は3つの事業を行いました。1つ目は夏休み企画、親子セミナー『驚き・発見！ねん土でつくろう夢の家』で、小学生を対象に神戸市埋蔵文化財センターと共催しました。2つ目は『御影・住吉の建築と歴史をたどる建築たうんウォッチング』で、市民と一緒に街歩き・解説を行い、すまいるネットには後援として広報において協力していただきました。3つ目は『文化住宅のリノベーション“考”』で、市民と建築士が話し合い古びた文化住宅のリノベーションプランをつくりました。灘区役所には後援として広報において協力していただきました。事業の内容は事業報告をご参照お願いします。

どの事業も市民の皆様とふれあう機会ができ、楽しい時間を過ごせました。これは委員会のメンバーの皆様、すまいるネットの皆様、神戸支部の皆様の協力とご支援により行うことができました。厚く御礼申し上げます。

これからも市民と建築士を繋ぐ事業を行い、建築の素晴らしさや、活動の楽しさを皆様と共有し、大人から子供まで楽しめる事業を行ってゆきたいと思います。今後もより一層、皆様のご指導・ご支援をお願い致します。また、平成21年から2期4年間、委

員長を務めさせていただきました。皆様には大変お世話になりました。そして、この度とてもうれしいことがありました。それは次年度の委員長役職を、三島副委員長が引き受けて下さったことです。微力ながら応援させていただきます。

(日高 俊二)

## ★ 平成24年度委員会メンバー

担当副支部長：長谷川 清

委員長：日高俊二

副委員長：木下 功、三島悦子

委員：木山正典、常俊桂子、高橋眞治、  
金岡正一、毛利康人、瀬戸口 茂

協力委員：水谷忠清、田中嘉之、山際洋子  
野崎瑠美

## 平成25年度委員長の声（三島さん）

すまいスクール委員会に入って4年。

「建築士と考える住まいスクール 永く住み続けられる住まい」を担当し、建築士と市民が共に考えるワークショップを行ってきました。

この市民にとっての“楽しみ”、建築士にとっての“驚き、発見”という化学反応は、コミュニケーションをとることで生まれます。

私自身、福祉と建築両方に関連する仕事をしていることから、異分野間のコミュニケーションは不可欠であり、建築士会員や市民の方に、このコミュニケーションの大切さを、これからも伝えていくことができると考えています。

この度、委員長ということで、自分自身のコミュニケーション能力を試されることになると思いますが、何卒ご協力いただけますようお願いいたします。

## ★ 平成24年度事業報告

- ・ 親子事業（HP原稿を転用）
  - ・ 建築たうんウォッチング（瀬戸口さん）
  - ・ すまいスクール in 神戸文学館（瀬戸口さん）
- 各事業A4、1～2枚程度

(社)兵庫県建築士会神戸支部すまいスクール委員会  
平成 24 年夏休み親子事業「驚き発見！粘土でつくろう 夢の家」報告

日 時:平成 24 年 8 月 4 日(土)13:30~16:50  
会 場:神戸市立埋蔵文化財センター3階研修室  
参加者:小学生とその保護者 13 組 人

兵庫県建築士会神戸支部では、長年に渡り、親子で建築文化に親しんでいただく催しを行ってきましたが、夏休みに作品作りを兼ねて行うのは今回で5回目となります。  
今年は一昨年に引き続き、西神中央にある神戸市立埋蔵文化財センターで開催しました。

前半は、埋蔵文化財センターの学芸員内藤さんに、主に古代の集落や建物の話をしていただき、次に建築士による各種建築材料、とりわけ土をテーマにした(人間だけでなく、他の生物の住まいも含む)クイズ。そして金属がなかった時代に用いられたサヌカイトや黒曜石といった石を使って物を切る実演を見、火を起こす体験などをした後、1階の展示室に行って、竪穴式住居の原寸模型や、割れたかけらを組み合わせて土器に完成させる展示などを楽しんでいただきました。



学芸員による講義風景



火起こし体験

後半、いよいよ粘土を使っての作品作り。赤茶色の埴輪粘土に加え、白の紙粘土・木の枝・葉・松ぼっくり・サザエや二枚貝の貝殻・細かい石・その他1年に渡り収集した材料、絵の具やラメも準備しました。

参加者の中には、完成図を持参で来たお子さんもあり、1時間半、全員が懸命に作品作りに取り組んでいました。その間、建築士のスタッフは、固定の仕方の相談を受けたり、扱いが危険なノコギリを使っての枝のカットなどをお手伝いしました。





最後に、一人一人完成した作品を手に前に出て、テーマや工夫した点を発表。人前での発表が恥ずかしそうな子もいるし、いい作品ができたと自慢げな子もいるし、皆さんがんばって作った作品を紹介していました。そして、弥生人の扮装(貫頭衣と勾玉ネックレス)をして作品と一緒に記念撮影した写真を貼り付けた認定証が全員に授与されました。



作品のテーマや工夫したところを発表



貫頭衣を着て、緊張の記念撮影



どの子も集中力が途切れることなく夢中で取り組んでいたし、そばで見守る親御さんとのコミュニケーションもしっかりはかれていたようで、親子で夏休みのいい思い出になったのではないのでしょうか。終了後の参加者の晴れ晴れと満足げな帰り姿を見て、来年もやる気満々のスタッフ一同の顔がありました。



一部ですが完成作品を紹介します



=====

## 御影・住吉の建築と歴史をたどる

### 建築たうんウォッチング

=====

日 時：平成 25 年 3 月 2 日(土)13:00～17:00

参加者：32 名（一般市民 25 名、スタッフ 7 名）

見学施設：①小原流豊雲記念館

②武田資料館

③香雪美術館・旧村山邸

④弓弦羽神社

⑤安藤忠雄の住宅建築

⑥倚松庵（谷崎潤一郎旧宅）

⑦灘中学・高等学校

⑧コープ神戸生活文化センター

=====

すまいスクール委員会では、建築士と市民の交流をととして建築の理解を深めることを目的とした建築たうんウォッチングを行いました。

今回は神戸を代表する高級住宅地の御影・住吉地区を舞台に、まちなかに点在する優れた建物（すまい）や街並みを構成する石垣や生け垣などを見て回りました。道中、目にする建物等を話題に参加者との意見交換を図りました。

当日は、早春のやや肌寒い天気でありましたが、ほぼ定員どおりの 32 名の参加がありました。参加者の方々が大変協力的なこともあり、スケジュール通り進行することができ、また、事故もなく無事事業を終えることができました。

また、アンケートでは参加者の皆様から「とてもよかった」「次回も参加したい」というご意見をいただきました。最後に事業の広報において、神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”の皆様に協力いただきました。お陰様で盛況の内に事業を終えることができました。

記：S.H



武田資料館にて



旧村山邸にて



安藤忠雄の住宅にて



小原流豊雲記念館にて



倚松庵にて



## 建築士と考える住まいスクール2012

### 文化住宅の「リノベーション“考”」

日 時：平成 25 年 3 月 9 日(土)13:00~16:30

参加者：15 名

場 所：神戸文学館

内 容：会場周辺街並み見学とリノベーションの  
講義及び文化住宅2戸の活用案作成ワー  
クショップ

すまいスクール委員会では、建築士と考えるすまいスクールと題し、市民との交流を通して、昭和初期に建った文化住宅の再生を目的とした活用提案ワークショップを行いました。

今回は神戸でも指折りの文教地区である灘区王子公園周辺の神戸文学館を会場にし、会場近くの文化住宅を文学やアートと身近にふれ合える暮らしにふさわしいスペースにリノベーションする案を市民の皆様と考えていただきました。当初、リノベーションという聞きなれない言葉に戸惑いがあったようですが、ミニ講義でのリノベーション事例紹介や実際の物件及び周辺を見ることが、プランをイメージできるようになっていき、短時間ながら、具体的なプランを発表していただきました。

当日は、早春の穏やかな天気にも恵まれ、15名の参加がありました。市民と建築士がわいわいがやがやと意見を交わし、とても和やかな雰囲気ですべてを終えることができました。

また、アンケートでは参加者の皆様から「とてもよかった」「次回も参加したい」というご意見をいただき、大変うれしく思いました。最後に事業の広報及び進行に協力いただきました灘区役所、神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”、街歩き解説の“なだ人だな”の皆様には心から感謝いたします。有り難うございました。

記：S.H



リノベーション講義



街歩き解説





ワークショップ状況



神戸文学館館長の説明



神戸文学館にて

事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	平成24年5月18日	
事業名称	兵庫県建築士会神戸支部総会 特別講演会【50周年記念事業】					
開催日時	平成23年4月28日(土)15:00～17:00			開催場所	兵庫県立美術館ミュージアムホール	
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい					
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会					
事業の目的	<p>広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場としたい。講師については、“建築界のノーベル賞”ともいわれるプリツカー賞を妹島氏と共に受賞された、西沢立衛氏を招き、年齢層を問わずに集客し、会員拡大及び活動参加拡大(特に青年層に対して)の広報活動の場としたい。また、活躍されている講師の講演を聞くことにより、個々の意識向上につなげる事を目的とする。また、兵庫県立美術館のホールをお借りすることでの建築物的集客力と参加者の空間による心の高揚にも期待を込めた構成としている。</p>					
主な事業内容	<p>講師に建築家、西沢立衛氏を招いて、テーマ「近作について」の特別講演会 総会後の特別講演会の企画・運営</p>					
参加者	内訳 人数	青年会員 9	一般会員 74	会員外 116	その他 19	合計 218
建築士の関り	<p>著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得るまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、この事業を行ってきました。</p>					
今後の検討課題	<p>①学生、一般の方への広報方法 ②会員拡大、現会員の方の今後の活動参加拡大への広報活動。 ③集客の望める建築家の選定方法 ④集客力アップの為、多くのファブリシティーの確保</p>					
連携・協力組織等	西沢立衛建築設計事務所					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
事業担当(計画)者	佐伯 亮太 (青年副部会長)			事業責任者	佐々木 康行(青年部会長)	
				神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階	
				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>	

事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	平成24年11月5日	
事業名称	施主の心をくすぐるメーカー品勉強会					
開催日時	平成24年10月25日（木） 18：30～20：30			開催場所	神戸支部事務所	
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい					
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会					
事業の目的	<p>普段の設計や施工業務の中で、何気にスペックしている定番品とちょっと違う、コストはそんなにも変わらないが、施主からは、「あれっ、これちょっといいね」と言ってもらえるような商品。室内環境(熱、音、光、匂い、触感)が向上するような商品。そういったものを、単なる営業と違った、本当に使いたくなる(自分の武器になる)商材を勉強する。</p>					
主な事業内容	<p>テーマ;『建物緑化』 講 師;東邦レオ株式会社、エスベックミック株式会社 建物の緑化が義務化されて10年近く経ち、大規模建築物・公共建築物への採用は必須となっている。しかしながら、その効用・コスト・問題点・荷重・管理方法等々の要素について熟知している方はまだまだ少ないのではないのでしょうか？ 今回の勉強会では建物用途・規模に応じた工法を上記の要素についてまとめ、建築主にすぐにでも提案できる知識を身につけていただくことを目標とします。</p>					
参加者	内訳 人数	青年会員 7	一般会員 7	会員外 0	その他 0	合計 14
建築士の関り	シリーズ化していき、それぞれの回でできる限り、濃縮したレジメを作り、実務にすぐ役立てられるノートにしていきたい。10年以上は持つ知識と現在にしか通用しない知識とは切り離したレジメとする。					
今後の検討課題	①学生、一般の方への広報方法 ②会員拡大、現会員の方の今後の活動参加拡大への広報活動。 ③集客の望めるメーカー選定					
連携・協力組織等						
						
事業担当(計画)者	湖亀 一登（青年部会）			事業責任者	佐々木 康行（青年部会長）	
				神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12古湊ビル2F	
				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>	



事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成25年3月10日		
事業名称	建築セミナーin伊勢							
開催日時	平成25年2月23日（土）				開催場所	伊勢神宮		
ふりがな	(しや)ひょうごけんけんちくしかい こうべしふ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	建築物(地区)の見学を通じ、建築士としての意識向上、会員交流を図る。							
主な事業内容	<p>今年は20年に1度の式年遷宮ということで、普段とは違う状態の伊勢神宮を見学できる。</p> <p>案内者に伊弉諾神宮宮司:本名氏においでいただき、歴史を含めて解説いただく。</p> <p>新たに出来た「せんぐう記念館」の見学をする。一般では入ることができない垣の内(神域)にて参拝する。神楽殿にて御神楽を見学する。</p>							
参加者	内訳 人数	青年会員 8	一般会員 11	会員外 17	子供 3	乳児(無料) 2	その他 0	合計 41
建築士の関り	<p>神話時代から天皇制の確立を経て神宮(伊勢神宮)の成立。式年遷宮制の確立。</p> <p>20年に一度の式年遷宮と言いつつも、実際には150以上の社殿を建替えるため、実際には20年間ほぼ造営工事を行なっていること。</p> <p>神明造りの様式について学ぶこと。</p>							
今後の検討課題	<p>①学生、一般の方への広報方法</p> <p>②参加したいと思える魅力的な行き先(建築物・地域)の選定</p> <p>③出席者名簿の作成方法(事務局がないため実行当日までの人数確定・参加者への諸案内等)にかなり手間がかかる</p>							
連携・協力組織等								
 <p>集合写真</p>					 <p>伊弉諾神宮 本名宮司の案内を聞く参加者達</p>			
事業担当(計画)者	湖亀 一登 (青年部会)			事業責任者	佐々木 康行 (青年部会長)			
				神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12古湊ビル2F			
				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			

## 編集後記

兵庫県建築士会神戸支部は、昨年支部創立 50 周年を迎え、記念式典が行われました

50 年という一区切りがついたところで、初心に戻ってとは、神戸支部のある神戸の魅力を改めて考えてみようと思いました。

そんな時、神戸の公式観光サイト「Feel KOBE の姉妹サイト「Feel Photo(神戸公式写真ダウンロードサイト)」を発見したのです。

エリア別に北野、三宮、居留地、元町…、ジャンル別に夜景、祭り・イベント、グルメ・スイーツ・ジャズ…と、掲載されている写真を見てみると、美しい山を背景に歴史ある洋館や雰囲気のあるストリート、活気ある街が海に映し出されている— こんなすばらしい街だったことを思い知らされました。

この神戸が魅力溢れる街であり続けるために、“魅力ある建築士”という視点も必要ではないか、などと感じてしまいました。

(三島悦子)

